

神河町史「自然・地理編」 鳥類調査(その1)

県レッドデータブックの希少種など44種を記録!

神河町史調査員(鳥類) 齊木 孝

神河町史「自然・地理編」は、2025年発行を目指し、現在、専門家により地質や動植物などを対象に調査を進めています。鳥類の生息状況調査は、2021年5月から約1年にわたり延べ42日間実施しました。希少種の確認を含めた成果を得ることができたので、その一端をご紹介します。

現地調査により確認された種類は123種です。これに地元自然愛好家の方からの写真および観察情報による4種(ヒドリガモ、アカエリヒレアシシギ、サメビタキ、イスカ)と町の情報によるコウノトリ1種を加え、**合計128種**が確認されました。ちなみに、1979年1月に報告された環境影響調査書によると、峰山・太田池・犬見川流域などで71種が確認されていましたが、今回、神河町域全体を広範に調査したことなどが奏功し、57種もの増加(1.8倍)となりました。

その中には兵庫県レッドデータブック2013(鳥類)に指定されている希少種などが44種含まれており、このうち、過去の記録が不明な種が15種、2002年以前のみ生息記録のある種が14種、2003年以降の生息記録のある種が15種となっています(表1)。

鳥類は自然の豊かさを示すバロメータとも言えますが、神河町内には1000m級の千ヶ峰・暁晴山などの山々や峰山・砥峰高原をはじめ市川・越知川などの清流、さらには米麦などが生産される農耕地が広がり、鳥だけでなく人にとっても恵まれた環境があることを物語っているのではないのでしょうか。

表1 確認種のうち兵庫県レッドデータブック2013(鳥類)の指定種

ランク別	過去の記録が不明		2002年以前のみ生息確認		2003年以降に生息確認	
A	コウノトリ ヨタカ	ミサゴ	ノビタキ カヤクグリ	アオジ	クマタカ ルリビタキ	
B	オシドリ ヒクイナ アオバズク アカショウビン	メボソムシクイ コマドリ	イカルチドリ タンギ ハチクマ ツミ	オオタカ サシバ ノスリ クロジ	ヤマセミ オオアカゲラ ハヤブサ ゴジュウカラ	
C	ハイタカ チゴハヤブサ サンショウクイ		イソシギ		ジュウイチ アカゲラ アオゲラ	カワガラス コサメビタキ
要注目種	該当種なし		ヤマドリ カワセミ		オオヨシキリ オオルリ	キビタキ コガラ
要調査種	クイナ アカエリヒレアシシギ	イスカ	該当種なし		該当種なし	

A:絶滅の危機に瀕している種 B:絶滅の危機が増大している種 C:存続基盤がぜい弱な種

◆清流の鳥ヤマセミ



▲県外にて県内在住の遠石屋氏撮影

写真はヤマセミという山間部の溪流などに周年生息する希少な鳥で、大きさは全長38cmとカワセミの仲間では最大です。白と黒の鹿の子模様に、ぼさぼさした冠羽が特徴で、河川の周りの木の枝や電線などに止まり、川に飛び込んで魚をとります。

全国的にも激減している鳥ですが、今回の調査では一度だけ姿を確認できました。清流豊かな神河町にとってもマッチする鳥ですが、警戒心が大変強いので、もし見かけても遠くからそっと見守って下さい。